

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及への取り組み

ZEHとは？ ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称です。
断熱・気密性の高い省エネルギーの住宅に、太陽光発電によるエネルギーの創出を図り、1年間で消費するエネルギー量の収支がゼロ以下となる住宅のこと。

2014年4月に政府は「エネルギー基本計画」を閣議決定し、「住宅については2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなる住宅(以下、「ZEH」という)の実現を目指す」とする政策目標を設定しています。

株式会社 村田建工では上記政策目標に基づいてZEHの自立的普及を目指し、高断熱高性能設備等省エネルギー性の高い住宅を提案し、2020年度にむけて以下の普及目標を掲げてZEH支援事業に積極的に取り組んでいきます。

ZEH普及実績値

平成29年度 (2017年) 0%

ZEH普及目標値

平成30年度 (2018年) 20%

平成31年度 (2019年) 30%

平成32年度 (2020年) 50%

具体的なZEH普及策

◇ZEHの周知・普及に向けた具体策

ホームページでの告知、完成見学会や住宅展示場にてZEH普及におけるパンフレットの配布等を行い、幅広くエンドユーザーにZEHの知名度向上をはかる。

◇ZEHのコストダウンに向けた具体策

サッシ窓面積を極力少なくし、使用建材の見直しを行い費用対効果の高い材料を検討する。
また断熱材や断熱方法を再検討を行い、より省エネでコストダウンを図れるものを模索する。
また創エネについては、太陽光発電の効率を考えたシンプル屋根形状を提案し、コストダウンを考慮した作りを検討する。

◇その他の取り組みなど

自社社員や協力業者に対してもZEHの必要性を説明し、施工レベルでも省エネ意識を向上させ、より住宅性能の高い住宅をご提案します。